

■狩野元信 絵師(画家)。新障壁画様式確立して、狩野派の発展の基礎をつくり、後世、神格化された。

かのうもとのぶ

・・・・・・1476＝ 狩野正信の長男に生まれる。

応仁の乱終・1477＝ 1歳：

山城国一揆・1485＝ 9歳：

加賀一揆支配1488＝12歳：

足利義政没・1490＝14歳：

明応の政変・1493＝17歳：父の使いで亀泉集証を訪ねる。

・・・・・・1494＝18歳：

・・・・・・1497＝21歳：この年、法眼に叙された父から、御用絵師の座を譲られたと思われるが、

・・・・・・1503＝27歳：

細川政元殺害1507＝31歳：「細川澄元出陣影」、

・・・・・・1509＝33歳：再建の大徳寺如意庵方丈に「西湖図」「草山水図」を描くうち、

朝鮮三浦の乱1510＝34歳：*中国宋代の画人に匹敵すると賞賛されるほどになり、

早雲相模攻落1512＝36歳：

・・・・・・1513＝37歳：*大徳寺大仙院本堂(国宝)成る(伝相阿弥・狩野元信筆障壁画)。細川高国の依頼による「鞍馬蓋寺縁起絵巻」など幕府関係、とくに幕府の実権者であった管領細川氏の下で働いている。

・・・・・・1515＝39歳：「釈迦堂縁起」絵巻を描く。

義興遣明船・1516＝40歳：将軍家に嘉例の扇絵を献上。

義興周防掃国1518＝42歳：

その後、_幕府の弱体化によって活躍の場を他に求めるようになり、

足利義晴將軍1521＝45歳：

寧波の乱・ 1523＝47歳：

・・・・・・1524＝48歳：寿口藏主、夢中感得の観音像を狩野元信に描かせる。

・・・・・・1525＝49歳：三条西公条の邸で松杉梅図屏風を席画。

・・・・・・1529＝53歳：三条西実隆の命で扇面画を制作。

遣明船復活・1530＝54歳：父正信が死去。

・・・・・・1535＝59歳：宮中で唐絵屏風を描く。

銀輪出始・ 1538＝62歳：醍醐寺理性院から屏風絵の依頼。

・・・・・・1539＝63歳：*この年から十数年間にわたって石山本願寺での制作したり、上層町衆を対象とする絵馬・扇面画など、顧客は各階層に広がっていく。

武田信玄登場1541＝66歳：大内義隆から明輸出用金屏風等を受注。

鉄砲伝来・ 1543＝67歳：内裏の小御所(霊雲院障壁画)、

・・・・・・1544＝68歳：本願寺新寢殿に描く。

足利義輝將軍1546＝70歳：記録所の障子絵を描くなど、_宮廷や公家にも出入りして、

上杉謙信登場1548＝72歳：石山本願寺襖絵を描く。

ザビエル来日1549＝73歳：伝狩野元信「四季花鳥図屏風」成る。

大内布教許可1550＝74歳：足利義晴の葬儀に狩野元信筆の扇尽金屏風が使われる。

織田信長登場1551＝75歳：「二尊院縁起」を作成するか。

大友布教許可1552＝76歳：*孫の狩野永徳を伴い、足利義輝に年賀の挨拶をして、

川中島の戦始1553＝77歳：

・・・・・・1557＝81歳：

大友府内開港1559＝83歳：_没した。

武田恒夫「狩野派絵画史」、 「没年日本史人物事典」、 平凡社百科事典、